

(お知らせ)

福島第二原子力発電所4号機における
給水系サンプリングノズル折損の確認について

平成17年4月22日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所4号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)につきましては、平成17年3月20日より定期検査中ですが、水質測定用サンプリングノズル^{*1}が設置されている箇所について調査^{*2}を行っていたところ、本日午後3時13分頃、給水系にある高圧給水加熱器^{*3}出口に設置されているサンプリングノズル(長さ約37cm×直径約3cm)の折損を確認いたしました。(添付「原子炉給復水・復水浄化系概略系統図」参照)

今後、当該折損部品の回収作業を実施するとともに、原因を調査いたします。
これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

*1：サンプリングノズル

配管に流れる流体を採取して分析するための、筒状の装置の先端。

*2：水質測定用サンプリングノズルが設置されている箇所について調査

平成17年4月13日に発生した不適合事象「復水浄化系止め電動弁点検において、弁を開放したところ、弁座付近に筒状の金属物を発見したため、回収し調査の上対応を検討」(4月14日当社ホームページに掲載)に関して調査を行っていたところ、発見された金属は復水脱塩装置^{*4}出口に設置された水質測定用サンプリングノズルであることがわかったため、同様の箇所の調査を行っていたもの。

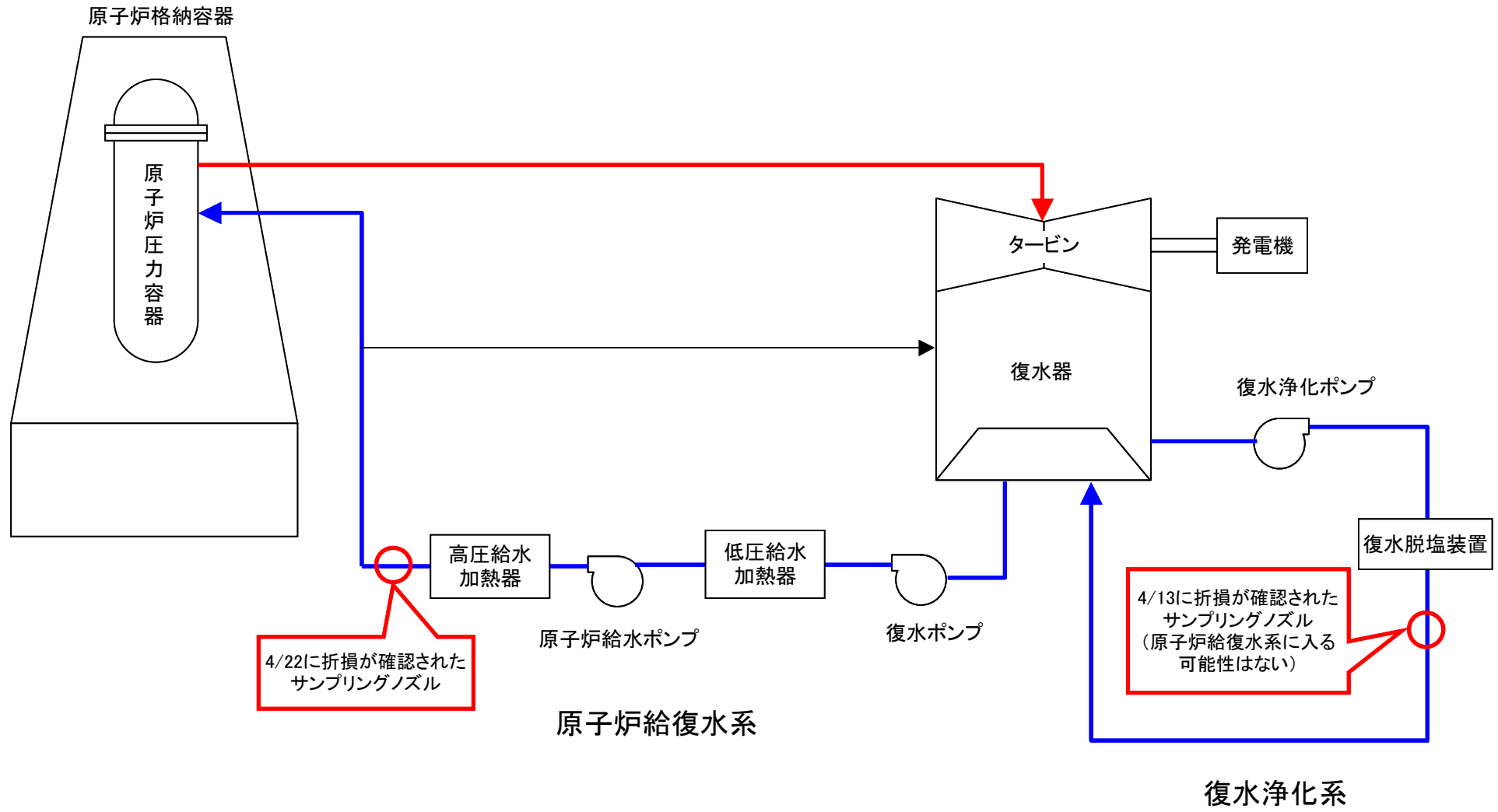
*3：給水加熱器

復水器で海水によって冷やされた蒸気を原子炉へ戻す際、熱効率を上げるため徐々に昇温する設備。

*4：復水脱塩装置

原子炉給水中の不純物を除去する他、万一、復水器内に海水が漏えいした場合、復水中の塩分を除去する装置。

(お問い合わせ先)
福島第二原子力発電所
広報部
TEL 0240-25-1353



原子炉給復水・復水浄化系概略系統図